

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

AB

(11)Publication number : 05-014264

(43)Date of publication of application : 22.01.1993

(51)Int.Cl.

H04B 7/26

H04B 10/00

(21)Application number : 03-164258

(71)Applicant : A T R KOUDENPA TSUSHIN
KENKYUSHO:KK

(22)Date of filing : 04.07.1991

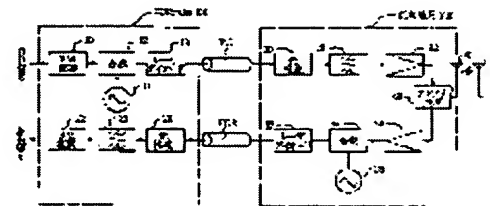
(72)Inventor : OGAWA HIROTSUGU

(54) LIGHT TRANSMISSION SYSTEM FOR RADIO LINK

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a light transmission system for radio link which has the simple constitution compared with the conventional example, connects a master base station and a slave base station without using the radio line and can transmit a signal for radio link.

CONSTITUTION: At a master base station 100, a carrier signal is modulated by an information signal, the modulated signal is outputted, and on the other hand, a local oscillating signal is generated. Next, by using non-linear electric and light converting characteristics, the modulated signal and the local oscillating signal are mixed, and so as to generate the signal of at least one mixing frequency component between these respective signals, the electric and light conversion is performed, and a light signal including the signal of the mixing frequency component is outputted to a light transmission line FC1. On the other hand, at a slave base station 200, the light signal transmitted through the light transmission line FC1 is light and electric converted, an electric signal including the mixing frequency component is outputted, the signal of the mixing frequency component decided beforehand out of the outputted electric signals is band-filtered, and the filtered signal of the mixing frequency component is radio-transmitted.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 28.01.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2975457

[Date of registration] 03.09.1999

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right] 03.09.2002

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-14264

(43) 公開日 平成5年(1993)1月22日

(51) Int.Cl.⁵

H 0 4 B 7/26
9/00

識別記号

1 0 4 A

序内整理番号

7304-5K
A 8426-5K

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数7(全15頁)

(21) 出願番号 特願平3-164258

(22) 出願日 平成3年(1991)7月4日

特許法第30条第1項適用申請有り 1991年5月23日 社団法人電子情報通信学会発行の「電子情報通信学会技術研究報告信学技法 Vol. 91 No. 60」に発表

(71) 出願人 000127662

株式会社エイ・ティ・オール光電波通信研究所
京都府相楽郡精華町大字乾谷小字三平谷5番地

(72) 発明者 小川 博世

京都府相楽郡精華町大字乾谷小字三平谷5番地 株式会社エイ・ティ・オール光電波通信研究所内

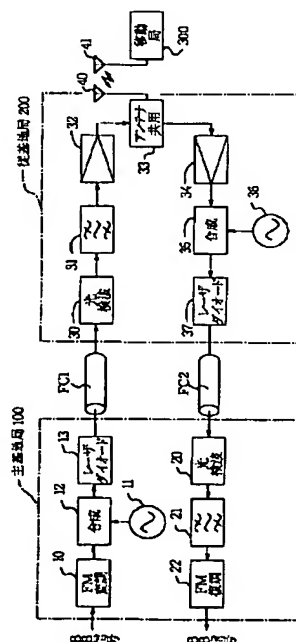
(74) 代理人 弁理士 青山 葆 (外1名)

(54) 【発明の名称】 無線リンク用光伝送システム

(57) 【要約】

【目的】 従来例に比較し構成が簡単であって、しかも無線回線を用いず主基地局と従基地局とを接続し無線リンク用信号を伝送することができる無線リンク用光伝送システムを提供する。

【構成】 主基地局において、搬送波信号を情報信号で変調して変調信号を出力し、一方、局部発振信号を発生する。次いで、変調信号と局部発振信号とを、非線形の電気・光変換特性を用いて変調信号と局部発振信号とを混合しこれらの各信号間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して混合周波数成分の信号を含む光信号を光伝送線路に出力する。一方、従基地局において、光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力し、出力される電気信号のうち予め決められた混合周波数成分の信号を帯域ろ波し、ろ波された混合周波数成分の信号を無線送信する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、

上記主基地局は、

所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、

所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、

非線形の電気・光変換特性を有し、上記変調手段から出力される変調信号と上記信号発生手段によって発生された局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記局部発振信号とを混合し上記変調信号と上記局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する電気・光変換手段とを備え、

上記従基地局は、

上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する光・電気変換手段と、

上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた混合周波数成分の信号を帯域ろ波するろ波手段と、

上記ろ波手段によってろ波された上記予め決められた混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段とを備えたことを特徴とする無線リンク用光伝送システム。

【請求項2】 主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、

上記従基地局は、

相手局において情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力する受信手段と、

所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、

非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記信号発生手段によって発生された局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記局部発振信号とを混合し上記受信信号と上記局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する電気・光変換手段とを備え、

上記主基地局は、

上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する光・電気変換手段と、

2

上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた混合周波数成分の信号を帯域ろ波するろ波手段と、

上記ろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を復調して上記情報信号を出力する復調手段とを備えたことを特徴とする無線リンク用光伝送システム。

【請求項3】 主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する第1と第2の光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、

上記主基地局は、

所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される第1の情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、

所定の周波数を有する第1の局部発振信号を発生する第1の信号発生手段と、

非線形の電気・光変換特性を有し、上記変調手段から出力される変調信号と上記第1の信号発生手段によって発生された第1の局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記第1の局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第1の光信号を上記第1の光伝送線路に出力する第1の電気・光変換手段とを備え、

上記従基地局は、

上記第1の電気・光変換手段から上記第1の光伝送線路を介して伝送された第1の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第1の光・電気変換手段と、

上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第1の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第1のろ波手段と、

上記第1のろ波手段によってろ波された上記第1の混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段と、

相手局において第2の情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力する受信手段と、

所定の周波数を有する第2の局部発振信号を発生する第2の信号発生手段と、

非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記第2の信号発生手段によって発生された第2の局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記第2の局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第2の光信号を上記第2の光伝送線路に出力する第2の電気・光変換手段とを備え、

上記主基地局はさらに、

上記第2の電気・光変換手段から上記第2の光伝送線路

3

を介して伝送された第2の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第2の光・電気変換手段と、

上記第2の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第2の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第2のろ波手段と、

上記第2のろ波手段によってろ波された上記第2の混合周波数成分の信号を復調して上記第2の情報信号を出力する復調手段とを備えたことを特徴とする無線リンク用光伝送システム。

【請求項4】 上記第1と第2の光信号は波長多重されて1本の光伝送線を介して伝送されることを特徴とする請求項3記載の無線リンク用光伝送システム。

【請求項5】 主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、

上記主基地局は、

所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、

所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、

非線形の電気・光変換特性を有し、上記信号発生手段によって発生された局部発振信号に反応して上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記局部発振信号の少なくとも1つの高調波信号を発生するとともに、上記変調手段から出力される変調信号と上記発生された高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記発生された高調波信号とを混合し上記変調信号と上記発生された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する電気・光変換手段とを備え、

上記従基地局は、

上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する光・電気変換手段と、

上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの混合周波数成分の信号を帯域ろ波するろ波手段と、

上記ろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段とを備えたことを特徴とする無線リンク用光伝送システム。

【請求項6】 主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する第1と第2の光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、

上記主基地局は、

所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される第1の情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、

4

所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、

非線形の電気・光変換特性を有し、上記信号発生手段によって発生された局部発振信号に反応して上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記局部発振信号の少なくとも1つの高調波信号を発生するとともに、上記変調手段から出力される変調信号と上記発生された高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記発生された高調波信号とを混合し上記変調信号と上記発生された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記発生された高調波信号と上記混合周波数成分の信号を含む第1の光信号を上記第1の光伝送線路に出力する第1の電気・光変換手段とを備え、

上記従基地局は、

上記第1の電気・光変換手段から上記第1の光伝送線路を介して伝送された第1の光信号を光・電気変換して上記発生された高調波信号と上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第1の光・電気変換手段と、

上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第1のろ波手段と、

上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの高調波信号を帯域ろ波する第2のろ波手段と、

上記第1のろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段と、

相手局において第2の情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力する受信手段と、

非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記第2のろ波手段によってろ波された上記高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記ろ波された高調波信号とを混合し上記受信信号と上記ろ波された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第2の光信号を上記第2の光伝送線路に出力する第2の電気・光変換手段とを備え、

上記主基地局はさらに、

上記第2の電気・光変換手段から上記第2の光伝送線路を介して伝送された第2の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第2の光・電気変換手段と、

上記第2の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第2の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第3のろ波手段と、

上記第3のろ波手段によってろ波された上記第2の混合周波数成分の信号を復調して上記第2の情報信号を出力する復調手段とを備えたことを特徴とする無線リンク用

光伝送システム。

【請求項7】 上記第1と第2の光信号は波長多重されて1本の光伝送線路を介して伝送されることを特徴とする請求項6記載の無線リンク用光伝送システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、ベースバンド信号の変復調を行なう主基地局と、端末局と無線回線を介して送受信するための送受信装置を備えた従基地局とが離れているときに、上記無線回線を介して送受信するための信号（以下、無線リンク用信号という。）を光ファイバケーブルを用いて伝送するための無線リンク用光伝送システムに関し、特に、自動車電話システム、パーソナル通信システムなどの移動体通信システムに適用可能な無線リンク用光伝送システムに関する。

【0002】

【従来の技術】 従来の移動通信システムにおいて、基地局でベースバンド信号の信号処理を行うために基地局の装置構成が複雑かつ大型になり、多数の基地局を必要とするゾーン半径が小さなマイクロセルゾーン又はピコセルゾーンの各々に基地局を設置することが困難になってきている。この問題点を解決するため、マイクロセルゾーン又はピコセルゾーンをカバーする従基地局に、ベースバンド信号の信号処理装置を設けず、無線通信に関するアナログ信号処理のみの送受信装置のみを設けて基地局の簡易化を図ることが提案されている。

【0003】 具体的には、例えば、主基地局においてベースバンド信号を多重化して得られた多重信号で搬送波を変調した後、当該変調信号を無線回線又は同軸ケーブルを用いた有線回線を介して従基地局に伝送する。そして、従基地局では、受信された変調信号を無線信号に周波数変換し、当該無線信号を移動端末局に向けて送信して無線通信を行なう。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、この従来のシステムにおいて、主基地局と従基地局とを無線回線を介して接続した場合、主基地局と複数の従基地局との間で多数の無線回線を設定する必要があるため、電波の有効利用を図ることが難しくなるとともに、主基地局と従基地局とを接続する無線回線どうし、並びに当該無線回線と従基地局と移動端末局とを接続する無線回線との電波干渉の問題を回避する必要があるという問題点があった。

【0005】 また、上記の従来のシステムにおいて、主基地局と従基地局とを同軸ケーブルを用いた有線回線を介して接続した場合、当該同軸ケーブルの線路損失のために搬送波周波数に上限が存在すること、並びに、主基地局と従基地局との間の距離に制限があるという問題点があった。

【0006】 本発明の目的は以上の問題点を解決し、従

来例に比較し構成が簡単であって、しかも無線回線を用いず主基地局と従基地局とを接続し無線リンク用信号を伝送することができる無線リンク用光伝送システムを提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】 本発明に係る請求項1記載の無線リンク用光伝送システムは、主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、上記主基地局は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記変調手段から出力される変調信号と上記信号発生手段によって発生された局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記局部発振信号とを混合し上記変調信号と上記局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する電気・光変換手段とを備え、上記従基地局は、上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する光・電気変換手段と、上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた混合周波数成分の信号を帯域ろ波するろ波手段と、上記ろ波手段によってろ波された上記予め決められた混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段とを備えたことを特徴とする。

【0008】 また、本発明に係る請求項2記載の無線リンク用光伝送システムは、主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、上記従基地局は、相手局において情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力する受信手段と、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記信号発生手段によって発生された局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記局部発振信号とを混合し上記受信信号と上記局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する電気・光変換手段とを備え、上記主基地局は、上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する光・電気変換手段と、上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた

混合周波数成分の信号を帯域ろ波するろ波手段と、上記ろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を復調して上記情報信号を出力する復調手段とを備えたことを特徴とする。

【0009】さらに、本発明に係る請求項3記載の無線リンク用光伝送システムは、主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する第1と第2の光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、上記主基地局は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される第1の情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、所定の周波数を有する第1の局部発振信号を発生する第1の信号発生手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記変調手段から出力される変調信号と上記第1の信号発生手段によって発生された第1の局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記第1の局部発振信号とを混合し上記変調信号と上記第1の局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第1の光信号を上記第1の光伝送線路に出力する第1の電気・光変換手段とを備え、上記従基地局は、上記第1の電気・光変換手段から上記第1の光伝送線路を介して伝送された第1の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第1の光・電気変換手段と、上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第1の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第1のろ波手段と、上記第1のろ波手段によってろ波された上記第1の混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段と、相手局において第2の情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力する受信手段と、所定の周波数を有する第2の局部発振信号を発生する第2の信号発生手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記第2の信号発生手段によって発生された第2の局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記第2の局部発振信号とを混合し上記受信信号と上記第2の局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第2の光信号を上記第2の光伝送線路に出力する第2の電気・光変換手段とを備え、上記主基地局はさらに、上記第2の電気・光変換手段から上記第2の光伝送線路を介して伝送された第2の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第2の光・電気変換手段と、上記第2の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第2の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第2のろ波手段と、上記第2のろ波手段によってろ波された上記第2の混合周波数成分の信号を復調して

上記第2の情報信号を出力する復調手段とを備えたことを特徴とする。

【0010】またさらに、請求項4記載の無線リンク用光伝送システムは、請求項3記載の無線リンク用光伝送システムにおいて、上記第1と第2の光信号は波長多重されて1本の光伝送線路を介して伝送されることを特徴とする。

【0011】本発明に係る請求項5記載の無線リンク用光伝送システムは、主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、上記主基地局は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記信号発生手段によって発生された局部発振信号にตอบสนองして上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記局部発振信号の少なくとも1つの高調波信号を発生するとともに、上記変調手段から出力される変調信号と上記発生された高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記発生された高調波信号とを混合し上記変調信号と上記発生された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する電気・光変換手段とを備え、上記従基地局は、上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する光・電気変換手段と、上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの混合周波数成分の信号を帯域ろ波するろ波手段と、上記ろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段とを備えたことを特徴とする。

【0012】また、本発明に係る請求項6記載の無線リンク用光伝送システムは、主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する第1と第2の光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、上記主基地局は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される第1の情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記信号発生手段によって発生された局部発振信号にตอบสนองして上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記局部発振信号の少なくとも1つの高調波信号を発生するとともに、上記変調手段から出力される変調信号と上記発生された高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記発生された高調波信号とを混合し上記変調信号と上記発生された高調波信号と

の間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記発生された高調波信号と上記混合周波数成分の信号を含む第1の光信号を上記第1の光伝送線路に出力する第1の電気・光変換手段とを備え、上記従基地局は、上記第1の電気・光変換手段から上記第1の光伝送線路を介して伝送された第1の光信号を光・電気変換して上記発生された高調波信号と上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第1の光・電気変換手段と、上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第1のろ波手段と、上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの高調波信号を帯域ろ波する第2のろ波手段と、上記第1のろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段と、相手局において第2の情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力する受信手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記第2のろ波手段によってろ波された上記高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記ろ波された高調波信号とを混合し上記受信信号と上記ろ波された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第2の光信号を上記第2の光伝送線路に出力する第2の電気・光変換手段とを備え、上記主基地局はさらに、上記第2の電気・光変換手段から上記第2の光伝送線路を介して伝送された第2の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第2の光・電気変換手段と、上記第2の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第2の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第3のろ波手段と、上記第3のろ波手段によってろ波された上記第2の混合周波数成分の信号を復調して上記第2の情報信号を出力する復調手段とを備えたことを特徴とする。

【0013】さらに、請求項7記載の無線リンク用光伝送システムは、請求項6記載の無線リンク用光伝送システムにおいて、上記第1と第2の光信号は波長多重されて1本の光伝送線路を介して伝送されることを特徴とする。

【0014】

【作用】上記請求項1記載の無線リンク用光伝送システムにおいては、上記主基地局において、上記変調手段は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される情報信号で変調して変調信号を出力し、一方、上記信号発生手段は、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する。次いで、上記電気・光変換手段は、非線形の電気・光変換特性を有し、上記変調手段から出力される変調信号と上記信号発生手段によって発生された局部発振信号

とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記局部発振信号とを混合し上記変調信号と上記局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する。一方、上記従基地局において、上記光・電気変換手段は、上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力した後、上記ろ波手段は、上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた混合周波数成分の信号を帯域ろ波する。次いで、上記送信手段は、上記ろ波手段によってろ波された上記予め決められた混合周波数成分の信号を無線送信する。

【0015】以上のように構成された請求項1記載の無線リンク用光伝送システムにおいては、上記主基地局と上記従基地局とを上記光伝送線路を用いて接続しているので、当該無線リンク系から上記従基地局と端末局との間で設定される無線回線への電波干渉を無くすることができる。上記主基地局側で上記情報信号の搬送周波数と上記局部発振信号の周波数とを適当に設定することにより、上記従基地局と上記端末局との間で設定される無線回線における無線周波数を任意に設定することができるので、例えば複数の従基地局によってそれぞれ形成される複数のマイクロセルゾーンにおける無線周波数の設定を容易に行なうことができる。以下、これを第1の作用効果という。また、上記従基地局においては、上記情報信号の信号処理装置を備えていないので、上記従基地局の構成を小型化かつ経済化することができ、より小さなスペースで当該従基地局を設置することができる。従って、上記従基地局の所定の設置スペースで各マイクロセルゾーンにおける各無線チャンネルのための無線機を多数設置することが可能となる。以下、これを第2の作用効果という。さらに、上記従基地局から送信される送信信号の周波数の安定度は、上記電気・光変換手段に入力される変調信号の搬送波信号の周波数の安定度と、上記局部発振信号の周波数の安定度によって決定されるので、上記主基地局内の搬送波信号発生器の搬送周波数の安定度と局部発振信号発生器の発振周波数の安定度を高めることにより、容易に無線回線における送信信号の周波数の安定度を高めることができる。以下、これを第3の作用効果という。

【0016】また、上記請求項2記載の無線リンク用光伝送システムにおいては、上記従基地局において、上記受信手段は、相手局において情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力し、一方、上記信号発生手段は、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する。次いで、上記電気・光変換手段は、非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記

11

信号発生手段によって発生された局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記局部発振信号とを混合し上記受信信号と上記局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する。一方、上記主基地局においては、上記光・電気変換手段は、上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力した後、上記ろ波手段は、上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた混合周波数成分の信号を帯域ろ波する。次いで、上記復調手段は、上記ろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を復調して上記情報信号を出力する。以上のように構成された請求項2記載の無線リンク用光伝送システムは、上記第1と第2の作用効果を有する。

【0017】さらに、上記請求項3記載の無線リンク用光伝送システムにおいては、上記主基地局においては、上記変調手段は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される第1の情報信号で変調して変調信号を出力し、一方、上記第1の信号発生手段は、所定の周波数を有する第1の局部発振信号を発生する。次いで、上記第1の電気・光変換手段は、非線形の電気・光変換特性を有し、上記変調手段から出力される変調信号と上記第1の信号発生手段によって発生された第1の局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記第1の局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第1の光信号を上記第1の光伝送線路に出力する。一方、上記従基地局において、上記第1の光・電気変換手段は、上記第1の電気・光変換手段から上記第1の光伝送線路を介して伝送された第1の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力した後、上記第1のろ波手段は、上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第1の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する。次いで、上記送信手段は、上記第1のろ波手段によってろ波された上記第1の混合周波数成分の信号を無線送信する。さらに、上記受信手段は、相手局において第2の情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力し、一方、上記第2の信号発生手段は、所定の周波数を有する第2の局部発振信号を発生する。次いで、上記第2の電気・光変換手段は、非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記第2の信号発生手段によって発生された第2の局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記第2の局部発振信号とを混合し上

12

記受信信号と上記第2の局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第2の光信号を上記第2の光伝送線路に出力する。さらに、上記主基地局において、上記第2の光・電気変換手段は、上記第2の電気・光変換手段から上記第2の光伝送線路を介して伝送された第2の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力した後、上記第2のろ波手段は、上記第2の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第2の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する。次いで、上記復調手段は、上記第2のろ波手段によってろ波された上記第2の混合周波数成分の信号を復調して上記第2の情報信号を出力する。以上のように構成された請求項3記載の無線リンク用光伝送システムは、上記第1ないし第3の作用効果を有する。

【0018】またさらに、上記請求項4記載の無線リンク用光伝送システムは、請求項3記載の無線リンク用光伝送システムにおいて、好ましくは、上記第1と第2の光信号は波長多重されて1本の光伝送線路を介して伝送される。

【0019】上記請求項5記載の無線リンク用光伝送システムにおいては、上記主基地局において、上記変調手段は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される情報信号で変調して変調信号を出力し、一方、上記信号発生手段は、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する。次いで、上記電気・光変換手段は、非線形の電気・光変換特性を有し、上記信号発生手段によって発生された局部発振信号に応答して上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記局部発振信号の少なくとも1つの高調波信号を発生するとともに、上記変調手段から出力される変調信号と上記発生された高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記発生された高調波信号とを混合し上記変調信号と上記発生された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する。一方、上記従基地局において、上記光・電気変換手段は、上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力した後、上記ろ波手段は、上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの混合周波数成分の信号を帯域ろ波する。次いで、上記送信手段は、上記ろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を無線送信する。以上のように構成された請求項5記載の無線リンク用光伝送システムは、上記第1ないし第3の作用効果を有する。

【0020】また、上記請求項6記載の無線リンク用光伝送システムにおいては、上記主基地局において、上記

変調手段は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される第1の情報信号で変調して変調信号を出力し、一方、上記信号発生手段は、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する。次いで、上記第1の電気・光変換手段は、非線形の電気・光変換特性を有し、上記信号発生手段によって発生された局部発振信号に反応して上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記局部発振信号の少なくとも1つの高調波信号を発生するとともに、上記変調手段から出力される変調信号と上記発生された高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記発生された高調波信号とを混合し上記変調信号と上記発生された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記発生された高調波信号と上記混合周波数成分の信号を含む第1の光信号を上記第1の光伝送線路に出力する。一方、上記従基地局において、上記第1の光・電気変換手段は、上記第1の電気・光変換手段から上記第1の光伝送線路を介して伝送された第1の光信号を光・電気変換して上記発生された高調波信号と上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力した後、上記第1のろ波手段は、上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの混合周波数成分の信号を帯域ろ波し、また、上記第2のろ波手段は、上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの高調波信号を帯域ろ波する。次いで、上記送信手段は、上記第1のろ波手段によってろ波された上記混合周波数成分の信号を無線送信する。さらに、上記受信手段は、相手局において第2の情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力した後、上記第2の電気・光変換手段は、非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記第2のろ波手段によってろ波された上記高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記ろ波された高調波信号とを混合し上記受信信号と上記ろ波された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第2の光信号を上記第2の光伝送線路に出力する。さらに、上記主基地局において、上記第2の光・電気変換手段は、上記第2の電気・光変換手段から上記第2の光伝送線路を介して伝送された第2の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力した後、上記第3のろ波手段は、上記第2の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第2の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する。次いで、上記復調手段は、上記第3のろ波手段によってろ波された上記第2の混合周波数成分の信号を復調して上記第2の情報信号を出力する。

【0021】以上のように構成された請求項6記載の無線リンク用光伝送システムは、上記第1ないし第3の作

用効果を有する。また、受信された無線信号の周波数変換のために、上記主基地局から伝送された光信号を光・電気変換して得られた上記高調波信号を局部発振信号として用いているので、上記従基地局において局部発振信号を発生させる発生器を設ける場合に比較して上記従基地局の構成を簡単化することができ、これによって、上記従基地局の小型化及び経済化を図ることができる。さらに、上記第1と第2の電気・光変換手段における局部発振信号として、上記主基地局で発生される局部発振信号の高調波成分を用いているので、上記従基地局と上記端末局との間の無線回線の送受信周波数の設定の自由度を従来例に比較し増大させることができる。

【0022】さらに、請求項7記載の無線リンク用光伝送システムは、請求項6記載の無線リンク用光伝送システムにおいて、好ましくは、上記第1と第2の光信号は波長多重されて1本の光伝送線路を介して伝送される。

【0023】

【実施例】以下、図面を参照して本発明に係る実施例について説明する。

【0024】＜第1の実施例＞図1は、本発明に係る第1の実施例である無線リンク用光伝送システムのブロック図である。

【0025】この第1の実施例の無線リンク用光伝送システムは、主基地局100と、主基地局100から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局200と、主基地局100と従基地局200とを接続するための2本の光ファイバケーブルFC1、FC2と、従基地局200と無線回線を介して接続される移動端末局300とから構成され、搬送波信号を外部装置から入力されるベースバンド信号（以下、図面においてBB信号と略す。）でFM変調して得られるFM信号と局部発振信号とを合成した後、合成信号を非線形の電気・光変換特性を有するレーザダイオード13を用いて光変調して無線周波数に周波数変換されたFM信号（以下、無線FM信号という。）を含む第1の光信号に変換し、当該第1の光信号を光ファイバケーブルFC1を介して従基地局200に伝送するとともに、従基地局200において、第1の光信号を光・電気変換後に上記無線FM信号を帯域通過フィルタ31によって帯域ろ波し、帯域ろ波された無線FM信号を増幅した後、移動端末局300に送信することを特徴とする。

【0026】また、従基地局200において、移動端末局300から受信された無線FM信号を増幅した後、局部発振信号と合成し、当該合成信号を非線形の電気・光変換特性を有するレーザダイオード37を用いて光変調してより低い周波数に周波数変換されたFM信号（以下、低域変換FM信号という。）を含む第2の光信号に変換し、当該第2の光信号を光ファイバケーブルFC2を介して主基地局100に伝送し、主基地局100において、第2の光信号を光・電気変換した後帯域通過フ

ルタ21によって上記低域変換FM信号を帯域ろ波し、帯域ろ波した低域変換FM信号をFM復調してベースバンド信号を出力することを特徴とする。

【0027】図1に示すように、主基地局100は、FM変調器10と、局部発振信号発生器11と、合成器12と、レーザダイオード13と、光検波器20と、帯域通過フィルタ21と、FM復調器22とを備える。一方、従基地局200は、光検波器30と、帯域通過フィルタ31と、送信電力増幅器32と、アンテナ共用器33と、送受信アンテナ40と、受信増幅器34と、合成器35と、局部発振信号発生器36と、レーザダイオード37とを備える。

【0028】主基地局100において、FM変調器10は、周波数 f_s の搬送波信号を外部装置から入力されるベースバンド信号でFM変調した後、FM変調後のFM信号を合成器12に出力する。合成器12は、入力されるFM信号と、局部発振信号発生器11で発生される周波数 f_l ($f_l > f_s$)の正弦波の局部発振信号とを合成し、当該合成信号をレーザダイオード13に出力する。レーザダイオード13は非線形の電気・光変換特性を有し、入力される合成信号を上記変換特性を用いて電気・光変換して、上記合成信号で強度変調された当該変換後の光信号を光ファイバケーブルFC1に出力し、これによって、当該光信号は、光ファイバケーブルFC1を介して従基地局200内の光検波器30に伝送される。ここで、レーザダイオード13は上述のように非線形の電気・光変換特性を有しているため、当該光信号は、搬送波周波数 f_s のFM信号と、周波数 f_l の局部発振信号と、周波数 $(f_l + f_s)$ のFM信号（以下、無線FM信号という。）と、周波数 $(f_l - f_s)$ のFM信号などの電気信号を含む。

【0029】従基地局200において、光検波器30は、光ファイバケーブルFC1を介して伝送されて入力された光信号を検波して光・電気変換した後、当該変換後の電気信号を、主として周波数 $(f_l + f_s)$ の無線FM信号成分のみを通過させる帯域通過フィルタ31を介して送信電力増幅器32に出力する。送信電力増幅器32は、入力された周波数 $(f_l + f_s)$ の無線FM信号を電力増幅してアンテナ共用器33を介して送受信アンテナ40に出力して、当該無線FM信号を移動端末局300の送受信アンテナ41に向けて無線送信する。

【0030】ここで、搬送波周波数 f_s のFM信号は、主基地局100のレーザダイオード13において、ともに合成されて入力された周波数 f_l の局部発振信号を用いてより高い周波数の無線FM信号にアップコンバージョンさせることができ、周波数変換後の無線FM信号を従基地局200の帯域通過フィルタ31によって帯域ろ波することにより、当該無線FM信号を移動端末局300への送信無線信号として用いることができる。すなわち、レーザダイオード13は、電気・光変換素子のみならず、高周波用混合器として用いる。従って、搬送波周波数 f_s と局部発振信号の周波数 f_l とを適当に設定することにより、上記送信無線信号となる所定の無線周波数を有する無線FM信号を容易に発生することができる。

【0031】一方、移動端末局300の送受信アンテナ41から従基地局200の送受信アンテナ40に向けて送信される周波数 $(f_l + f_s + f_d)$ の無線FM信号は送受信アンテナ40で受信された後、アンテナ共用器33及び受信増幅器34を介して合成器35に入力される。ここで、移動端末局300から送信される無線FM信号は、周波数 f_s の搬送波信号をベースバンド信号でFM変調された後、上記無線周波数 $(f_l + f_s + f_d)$ に周波数変換して得られた信号であり、周波数 f_d は従基地局200と移動端末局300との無線回線における送受信周波数間隔である。合成器35は、入力された無線FM信号と、局部発振信号発生器36で発生されて入力された周波数 $(f_l + f_d)$ の局部発振信号とを合成して、当該合成信号をレーザダイオード37に出力する。レーザダイオード37は非線形の電気・光変換特性を有し、入力される合成信号を上記変換特性を用いて電気・光変換して、上記合成信号で強度変調された当該変換後の光信号を光ファイバケーブルFC2に出力し、これによって、当該光信号は、光ファイバケーブルFC2を介して主基地局100内の光検波器20に伝送される。ここで、レーザダイオード37は上述のように非線形の電気・光変換特性を有しているため、当該光信号は、周波数 $(f_l + f_s + f_d)$ の無線FM信号と、周波数 $(f_l + f_d)$ の局部発振信号と、周波数 $\{(f_l + f_s + f_d) - (f_l + f_d) = f_s\}$ のFM信号と、周波数 $\{(f_l + f_s + f_d) + (f_l + f_d) = 2f_l + f_s + 2f_d\}$ の無線FM信号などの電気信号を含む。

【0032】主基地局100において、光検波器20は、光ファイバケーブルFC2を介して伝送されて入力された光信号を検波して光・電気変換した後、当該変換後の電気信号を、主として周波数 f_s のFM信号成分のみを通過させる帯域通過フィルタ21を介してFM復調器22に出力する。FM復調器22は、入力されたFM信号に対してFM復調の処理を行って、ベースバンド信号を復調し出力する。

【0033】ここで、周波数 $(f_l + f_s + f_d)$ の無線FM信号は、従基地局200のレーザダイオード37において、ともに合成されて入力された周波数 $(f_l + f_d)$ の局部発振信号を用いてより低い周波数のFM信号にダウンコンバージョンさせることができ、周波数変換後のFM信号を主基地局100の帯域通過フィルタ21によって帯域ろ波した後、FM復調することにより、ベースバンド信号を得ることができる。すなわち、レーザダイオード37は、電気・光変換素子のみならず、高

周波用混合器として用いる。

【0034】図4は、第1の実施例の主基地局100のレーザダイオード13における、入力される電気信号の電力レベルに対する出力される光信号に含まれる電気信号の電力レベルの特性例を示すグラフである。この特性の測定時の各設定値は次の通りである。

入力される搬送波信号の周波数 $f_s = 0.9 \text{ GHz}$ 、
入力される局部発振信号の周波数 $f_l = 4 \text{ GHz}$ 、
レーザダイオード13のバイアス電流 $I_d = 35 \text{ mA}$

【0035】図4から明らかなように、レーザダイオード13から出力される光信号に含まれ、光検波器30から出力される電気信号として、周波数変換後に、周波数 $(f_l + f_s)$ の信号と周波数 $(f_l - f_s)$ の信号が含まれることがわかる。

【0036】以上のように構成された第1の実施例の無線リンク用光伝送システムにおいては、主基地局100と従基地局200とを光ファイバケーブルFC1、FC2を用いて接続しているため、当該無線リンク系から従基地局200と移動端末局300との間で設定される無線回線への電波干渉を無くすることができる。主基地局100側で搬送周波数 f_s と局部発振周波数 f_l とを適当に設定することにより、従基地局200と移動端末局300との間で設定される無線回線における無線周波数を任意に設定することができるので、例えば、複数の従基地局200によってそれぞれ形成される複数のマイクロセルゾーンにおける無線周波数の設定を容易に行なうことができるという利点がある。

【0037】また、従基地局200においては、ベースバンド信号の信号処理装置を備えていないので、当該従基地局200の構成を小型化かつ経済化することができる。従って、従基地局200の所定の設置スペースで各マイクロセルゾーンにおける各無線チャンネルのための無線機を多数設置することが可能となる。

【0038】さらに、従基地局200から送信される無線FM信号の周波数の安定度は、FM変調器10内で発生される搬送波信号の周波数 f_s の安定度と、局部発振信号発生器11で発生される周波数 f_l の局部発振信号の安定度によって決定されるので、主基地局100におけるFM変調器10内の搬送波信号発生器の発振周波数の安定度と局部発振信号発生器11の発振周波数の安定度を高めることにより、容易に無線回線において送信信号として用いる高周波信号の周波数の安定度を高めることができる。

【0039】以上の第1の実施例において、1個の従基地局200及び1個の移動端末局300のみを示しているが、これに限らず、それぞれ複数個の従基地局200及び複数個の移動端末局300を設けてもよい。

【0040】＜第2の実施例＞図2は、本発明に係る第2の実施例である無線リンク用光伝送システムのプロッ

ク図である。

【0041】この第2の実施例の無線リンク用光伝送システムは、主基地局101と従基地局201とを備え、第1の実施例と比較し、主基地局101内のレーザダイオード13tにおいて、その非線形の電気・光変換特性を用いて、周波数 $2f_l$ の局部発振信号の第2高調波信号を発生させるとともに、当該第2高調波信号と搬送波周波数 f_s のFM信号とを混合させて周波数 $(2f_l + f_s)$ の無線FM信号を発生させ、これらの電気信号を含む光信号を従基地局201に伝送し、従基地局201において、周波数 $(2f_l + f_s)$ の無線FM信号を帯域通過フィルタ38によって帯域ろ波して移動端末局300への送信無線信号として用いるとともに、上記局部発振信号の第2高調波信号を帯域通過フィルタ39によって帯域ろ波して、当該帯域ろ波した上記局部発振信号の第2高調波を、受信した無線FM信号をダウンコンバージョンするための局部発振信号として用いることを特徴としている。以下、第1の実施例との相違点について説明する。

【0042】レーザダイオード13tは非線形の電気・光変換特性を有し、搬送波周波数 f_s のFM信号と周波数 f_l の局部発振信号とが合成されて入力される合成信号を上記変換特性を用いて電気・光変換して、上記合成信号で強度変調された当該変換後の光信号を光ファイバケーブルFC1に出力し、これによって、当該光信号は、光ファイバケーブルFC1を介して従基地局201内の光検波器30に伝送される。ここで、レーザダイオード13tは、上記光信号に含まれる電気信号内の局部発振信号の第2高調波信号の信号レベルが概ね最大となるように、そのバイアス電圧及び入力される合成信号の信号レベルが調整される。レーザダイオード13tは上述のように非線形の電気・光変換特性を有しているため、この状態のもとで、レーザダイオード13tから出力される光信号は、搬送波周波数 f_s のFM信号と、周波数 f_l の局部発振信号と、周波数 $(2f_l)$ の局部発振信号の第2高調波信号と、周波数 $(f_l + f_s)$ のFM信号と、周波数 $(f_l - f_s)$ のFM信号と、周波数 $(2f_l + f_s)$ のFM信号（以下、無線FM信号という。）と、周波数 $(2f_l - f_s)$ のFM信号などの電気信号を含む。

【0043】従基地局201において、光検波器30は、光ファイバケーブルFC1を介して伝送されて入力された光信号を検波して光・電気変換した後、当該変換後の電気信号を、主として周波数 $(2f_l + f_s)$ の無線FM信号成分のみを通過させる帯域通過フィルタ38を介して送信電力増幅器32に出力するとともに、主として周波数 $2f_l$ の局部発振信号の第2高調波信号成分のみを通過させる帯域通過フィルタ39を介して合成器35に出力する。さらに、送信電力増幅器32は、入力された周波数 $(2f_l + f_s)$ の無線FM信号を電力増

幅してアンテナ共用器33を介して送受信アンテナ40に出力して、当該無線FM信号を移動端末局300の送受信アンテナ41に向けて無線送信する。

【0044】ここで、搬送波周波数 f_s のFM信号は、主基地局101のレーザダイオード13tにおいてともに合成されて入力された局部発振信号の第2高調波信号を用いてより高い周波数の無線FM信号にアップコンバージョンさせることができ、周波数変換後の無線FM信号を主基地局201の帯域通過フィルタ38によって帯域ろ波することにより、当該無線FM信号を移動端末局300への送信無線信号として用いることができる。すなわち、レーザダイオード13tは、電気・光変換素子のみならず、局部発振信号の高調波発生器と高周波用混合器として用いる。従って、搬送波周波数 f_s と局部発振信号の周波数 f_l とを適当に設定することにより、上記送信無線信号となる無線FM信号を容易に発生することができる。

【0045】一方、移動端末局300の送受信アンテナ41から主基地局201の送受信アンテナ40に向けて送信される周波数 $[2f_l + f_s'; f_s' = f_s + f_d]$ （送受信周波数間隔）の無線FM信号は送受信アンテナ40で受信された後、アンテナ共用器33及び受信増幅器34を介して合成器35に入力される。ここで、移動端末局300から送信される無線FM信号は、周波数 f_s' の搬送波信号をベースバンド信号でFM変調された後、上記無線周波数 $(2f_l + f_s')$ に周波数変換して得られた信号である。合成器35は、入力された無線FM信号と、帯域通過フィルタ39から入力された周波数 $2f_l$ の局部発振信号の第2高調波信号とを合成して、当該合成信号をレーザダイオード37に出力する。さらに、レーザダイオード37は非線形の電気・光変換特性を有し、入力される合成信号を上記変換特性を用いて電気・光変換して、上記合成信号で強度変調された当該変換後の光信号を光ファイバケーブルFC2に出力し、これによって、当該光信号は、光ファイバケーブルFC2を介して主基地局101内の光検波器20に伝送される。ここで、レーザダイオード37は上述のように非線形の電気・光変換特性を有しているため、当該光信号は、周波数 $(2f_l + f_s')$ の無線FM信号と、周波数 $2f_l$ の局部発振信号と、周波数 $\{(2f_l + f_s') - 2f_l = f_s'\}$ のFM信号と、周波数 $\{(2f_l + f_s') + 2f_l = 4f_l + f_s'\}$ の無線FM信号などの電気信号を含む。

【0046】主基地局101において、光検波器20は、光ファイバケーブルFC2を介して伝送されて入力された光信号を検波して光・電気変換した後、当該変換後の電気信号を、主として周波数 f_s' のFM信号成分のみを通過させる帯域通過フィルタ21を介してFM復調器22に出力する。FM復調器22は、入力されたFM信号に対してFM復調の処理を行って、ベースバンド

信号を復調し出力する。

【0047】ここで、周波数 $(2f_l + f_s')$ の無線FM信号は、主基地局201のレーザダイオード37においてともに合成されて入力された周波数 $2f_l$ の局部発振信号を用いてより低い周波数のFM信号にダウンコンバージョンさせることができ、周波数変換後のFM信号を主基地局101の帯域通過フィルタ21によって帯域ろ波した後、FM復調することにより、ベースバンド信号を得ることができる。すなわち、レーザダイオード37は、電気・光変換素子のみならず、高周波用混合器として用いる。

【0048】図5は、第2の実施例の主基地局101のレーザダイオード13tにおける、入力される電気信号の電力レベルに対する出力される光信号に含まれる電気信号の電力レベルの特性例を示すグラフである。この特性の測定時の各設定値は次の通りである。

入力される搬送波信号の周波数 $f_s = 0.9\text{GHz}$ 、

入力される局部発振信号の周波数 $f_l = 4\text{GHz}$ 、

レーザダイオード13tのバイアス電流 $I_d = 35\text{mA}$

【0049】図5から明らかなように、レーザダイオード13tから出力される光信号に含まれ、光検波器30から出力される電気信号として、周波数変換後に、周波数 $(2f_l + f_s)$ の信号と周波数 $(2f_l - f_s)$ の信号と周波数 $2f_l$ の信号とが含まれることがわかる。

【0050】以上のように構成された第2の実施例の無線リンク用光伝送システムは、第1の実施例と同様の効果を有するとともに、第1の実施例に比較し、主基地局201において局部発振信号発生器36を設ける必要がないので、主基地局の構成が簡単になり、その小型化及び低コスト化を図ることができる。

【0051】以上の第2の実施例においては、主基地局101内のレーザダイオード13tにおいて、その非線形の電気・光変換特性を用いて、周波数 $2f_l$ の局部発振信号の第2高調波信号を発生させるとともに、当該第2高調波信号と搬送波周波数 f_s のFM信号とを混合させて周波数 $(2f_l + f_s)$ の無線FM信号を発生させ、これらの電気信号を含む光信号を主基地局201に伝送し、主基地局201において、周波数 $(2f_l + f_s)$ の無線FM信号を帯域通過フィルタ38によって帯域ろ波して移動端末局300への送信無線信号として用いるとともに、上記局部発振信号の第2高調波信号を帯域通過フィルタ39によって帯域ろ波して、当該帯域ろ波した上記局部発振信号の第2高調波を、受信した無線FM信号をダウンコンバージョンするための局部発振信号として用いる。しかしながら、本発明はこれに限らず、局部発振信号の第2高調波信号の代わりに、局部発振信号の第3、第4、第5又は第6高調波信号などの他の高調波信号を用いてもよい。

【0052】以上の第2の実施例において、1個の主基地局201及び1個の移動端末局300のみを示してい

るが、これに限らず、それぞれ複数個の従基地局 201 及び複数個の移動端末局 300 を設けてもよい。

【0053】＜第3の実施例＞図3は、本発明に係る第3の実施例である無線リンク用光伝送システムのブロック図である。

【0054】この第3の実施例の無線リンク用光伝送システムは、主基地局 102 と、主基地局 102 からそれぞれ所定の距離だけ離れて設けられた3個の従基地局 200a, 200b, 200c と、主基地局 102 と各従基地局 200a, 200b, 200c とを接続するための6本の光ファイバケーブル FC11 乃至 FC13, FC21 乃至 FC23 と、従基地局 200a と無線回線を介して接続される移動端末局 300a と、従基地局 200b と無線回線を介して接続される移動端末局 300b と、従基地局 200c と無線回線を介して接続される移動端末局 300c とから構成される。

【0055】主基地局 102 において、各 FM 変調器 10a, 10b, 10c と、各局部発振信号発生器 11a, 11b, 11c と、各合成器 12a, 12b, 12c は第1の実施例のそれらと同様に動作する。また、各レーザダイオード 10a, 10b, 10c は、入力される合成信号にตอบสนองして第1の実施例のそれらと同様に動作して、互いに異なる第1乃至第3の波長を有する各光信号を発生し、それぞれ光合成器 60 に出力する。次いで、光合成器 60 は入力された3個の光信号を波長多重合成した後、多重合成後の多重光信号を、光合成器 60 の合波損失と各光ファイバケーブル FC11, FC12, FC13 の損失を補償するための光増幅器 61 と光ファイバケーブル FC11 を介して従基地局 200a に設けられる光分岐回路 71 に伝送する。

【0056】従基地局 200a において、光分岐回路 71 は入力された多重光信号のうち第1の波長を有する光信号を選択ろ波して従基地局 200a に出力するとともに、第2と第3の波長を有する各光信号を光ファイバケーブル FC12 を介して従基地局 200b に設けられる光分岐回路 72 に伝送する。

【0057】従基地局 200a は、入力された光信号について第1の実施例の従基地局 200 と同様の処理を行なう。ここで、従基地局 200a の送受信アンテナ 40a と、移動端末局 300a の送受信アンテナ 41a との間で第1の実施例と同様に無線回線が設定される。従基地局 200a で受信された無線信号の情報を含む光信号は光合成器 81 に出力される。光合成器 81 は、後述するように従基地局 200b の光合成器 82 から光ファイバケーブル FC22 を介して伝送される光信号と従基地局 200a から出力される光信号とを波長多重して合成し、合成された多重光信号を光ファイバケーブル FC21, FC22, FC23 の損失を補償するための光増幅器 62 を介して主基地局 102 の光分配器

63 に伝送する。

【0058】また、従基地局 200b において、光分岐回路 72 は入力された多重光信号のうち第2の波長を有する光信号を選択ろ波して従基地局 200b に出力するとともに、第3の波長を有する光信号を光ファイバケーブル FC13 を介して従基地局 200c に伝送する。

【0059】従基地局 200b は、入力された光信号について第1の実施例の従基地局 200 と同様の処理を行なう。ここで、従基地局 200b の送受信アンテナ 40b と、移動端末局 300b の送受信アンテナ 41b との間で第1の実施例と同様に無線回線が設定される。従基地局 200b で受信された無線信号の情報を含む光信号は光合成器 82 に出力される。光合成器 82 は、後述するように従基地局 200c から光ファイバケーブル FC23 を介して伝送される光信号と従基地局 200b から出力される光信号とを波長多重して合成し、合成された多重光信号を光ファイバケーブル FC22 を介して従基地局 200a の光合成器 81 に伝送する。

【0060】従基地局 200c は、光ファイバケーブル FC13 を介して伝送された光信号について第1の実施例の従基地局 200 と同様の処理を行なう。ここで、従基地局 200c の送受信アンテナ 40c と、移動端末局 300c の送受信アンテナ 41c との間で第1の実施例と同様に無線回線が設定される。従基地局 200c で受信された無線信号の情報を含む光信号は光ファイバケーブル FC23 を介して従基地局 200b の光合成器 82 に伝送される。

【0061】主基地局 100 において、光分配器 63 は伝送された互いに異なる波長を有する各光信号を波長別に分配して各光検波器 20a, 20b, 20c に出力する。ここで、従基地局 200a から出力されて伝送されてきた光信号は光検波器 20a に出力され、従基地局 200b から出力されて伝送されてきた光信号は光検波器 20b に出力され、従基地局 200c から出力されて伝送されてきた光信号は光検波器 20c に出力される。各光検波器 20a, 20b, 20c と、各帯域通過フィルタ 21a, 21b, 21c と、各 FM 復調器 22a, 22b, 22c は、第1の実施例のそれらと同様に動作する。

【0062】以上のように構成された第3の実施例において、上述の損失を補償するために、光増幅器 61, 62 を設けているので、従基地局 200a, 200b, 200c を収容できるエリアを大幅に拡大することができる。

【0063】以上の第3の実施例において、各従基地局 200a, 200b, 200c においてそれぞれ1組の送受信周波数を用いる場合は、伝送されるベースバンド FM 信号は複数のベースバンド信号が時分割多重された信号であってもよい。また、各従基地局 200a, 200b, 200c においてそれぞれ複数組の送受信周波数

を用いる場合は、伝送されるベースバンドFM信号は複数のベースバンド信号が周波数多重された信号であってもよい。

【0064】以上の第3の実施例において、主基地局102に第1の実施例の主基地局100を適用し、従基地局200a、200b、200cは、第1の実施例の従基地局200と同様の構成を有している。しかしながら、本発明はこれに限らず、主基地局102に第2の実施例の主基地局100を適用し、従基地局200a、200b、200cは、第2の実施例の従基地局200と同様の構成を有するように構成してもよい。

【0065】＜他の実施例＞以上の第1乃至第3の実施例において、FM変調器10、10a、10b、10cを用いているが、本発明はこれに限らず、FSK変調器などの他の変調方式の変調器を用いてもよい。

【0066】以上の第1と第2の実施例において、光ファイバケーブルFC1、FC2をそれぞれ伝送する各光信号を波長多重して1本の光ファイバケーブルを用いて伝送してもよい。

【0067】

【発明の効果】以上詳述したように本発明に係る請求項1記載の無線リンク用光伝送システムによれば、主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、上記主基地局は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記変調手段から出力される変調信号と上記信号発生手段によって発生された局部発振信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記局部発振信号とを混合し上記変調信号と上記局部発振信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む光信号を上記光伝送線路に出力する電気・光変換手段とを備え、上記従基地局は、上記電気・光変換手段から上記光伝送線路を介して伝送された光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する光・電気変換手段と、上記光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた混合周波数成分の信号を帯域ろ波するろ波手段と、上記ろ波手段によってろ波された上記予め決められた混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段とを備える。

【0068】従って、上記主基地局と上記従基地局とを上記光伝送線路を用いて接続しているため、当該無線リンク系から上記従基地局と端末局との間で設定される無線回線の電波干渉を無くすることができる。上記主基地局側で上記情報信号の搬送周波数と上記局部発振信号の周波数とを適当に設定することにより、上記従基地局と

上記端末局との間で設定される無線回線における無線周波数を任意に設定することができるので、例えば複数の従基地局によってそれぞれ形成される複数のマイクロセルゾーンにおける無線周波数の設定を容易に行なうことができる。

【0069】また、上記従基地局においては、上記情報信号の信号処理装置を備えていないので、上記従基地局の構成を小型化かつ経済化することができ、より小さなスペースで当該従基地局を設置することができる。従って、上記従基地局の所定の設置スペースで各マイクロセルゾーンにおける各無線チャンネルのための無線機を多数設置することが可能となる。

【0070】さらに、上記従基地局から送信される送信信号の周波数の安定度は、上記電気・光変換手段に入力される変調信号の搬送波信号の周波数の安定度と、上記局部発振信号の周波数の安定度によって決定されるので、上記主基地局内の搬送波信号発生器の搬送周波数の安定度と局部発振信号発生器の発振周波数の安定度を高めることにより、容易に無線回線における送信信号の周波数の安定度を高めることができる。

【0071】また、本発明に係る請求項6記載の無線リンク用光伝送システムによれば、主基地局と、上記主基地局から所定の距離だけ離れて設けられた従基地局と、上記主基地局と上記従基地局とを接続する第1と第2の光伝送線路とを備えた無線リンク用光伝送システムであって、上記主基地局は、所定の周波数を有する搬送波信号を、入力される第1の情報信号で変調して変調信号を出力する変調手段と、所定の周波数を有する局部発振信号を発生する信号発生手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記信号発生手段によって発生された局部発振信号に反応して上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記局部発振信号の少なくとも1つの高調波信号を発生するとともに、上記変調手段から出力される変調信号と上記発生された高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記変調信号と上記発生された高調波信号とを混合し上記変調信号と上記発生された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記発生された高調波信号と上記混合周波数成分の信号を含む第1の光信号を上記第1の光伝送線路に出力する第1の電気・光変換手段とを備え、上記従基地局は、上記第1の電気・光変換手段から上記第1の光伝送線路を介して伝送された第1の光信号を光・電気変換して上記発生された高調波信号と上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第1の光・電気変換手段と、上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第1のろ波手段と、上記第1の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた1つの高調波信号を帯域ろ波する第2のろ波手段と、上記第1のろ波手段によってろ波され

25

た上記混合周波数成分の信号を無線送信する送信手段と、相手局において第2の情報信号で変調されて無線送信された所定の無線周波数を有する送信信号を無線受信して受信信号を出力する受信手段と、非線形の電気・光変換特性を有し、上記受信手段から出力される受信信号と上記第2のろ波手段によってろ波された上記高調波信号とを、上記非線形の電気・光変換特性を用いて上記受信信号と上記ろ波された高調波信号とを混合し上記受信信号と上記ろ波された高調波信号との間の少なくとも1つの混合周波数成分の信号が生じるように電気・光変換して上記混合周波数成分の信号を含む第2の光信号を上記第2の光伝送線路に出力する第2の電気・光変換手段とを備え、上記主基地局はさらに、上記第2の電気・光変換手段から上記第2の光伝送線路を介して伝送された第2の光信号を光・電気変換して上記混合周波数成分の信号を含む電気信号を出力する第2の光・電気変換手段と、上記第2の光・電気変換手段から出力される電気信号のうち予め決められた第2の混合周波数成分の信号を帯域ろ波する第3のろ波手段と、上記第3のろ波手段によってろ波された上記第2の混合周波数成分の信号を復調して上記第2の情報信号を出力する復調手段とを備える。

【0072】従って、当該請求項6記載の無線リンク用光伝送システムは、上述の効果を有する。また、受信された無線信号の周波数変換のために、上記主基地局から伝送された光信号を光・電気変換して得られた上記高調波信号を局部発振信号として用いているので、上記従基地局において局部発振信号を発生させる発生器を設ける場合に比較して上記従基地局の構成を簡単化することができ、これによって、上記従基地局の小型化及び経済化を図ることができる。さらに、上記第1と第2の電気・光変換手段における局部発振信号として、上記主基地局で発生される局部発振信号の高調波成分を用いているの

26

で、上記従基地局と上記端末局との間の無線回線の送受信周波数の設定の自由度を従来例に比較し増大させることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係る第1の実施例である無線リンク用光伝送システムのブロック図である。

【図2】 本発明に係る第2の実施例である無線リンク用光伝送システムのブロック図である。

【図3】 本発明に係る第3の実施例である無線リンク用光伝送システムのブロック図である。

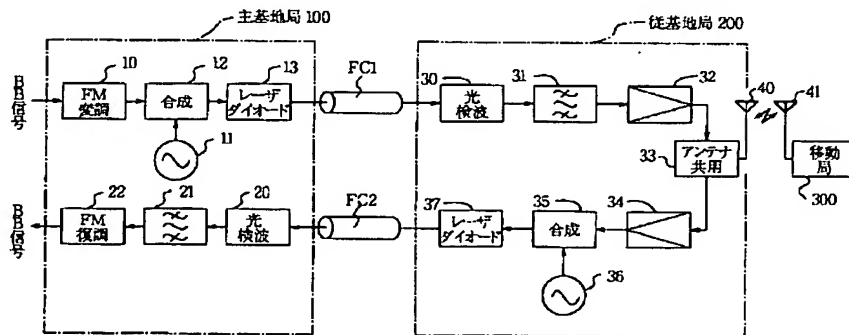
【図4】 第1の実施例における主基地局のレーザダイオードにおける、入力される電気信号の電力レベルに対する出力される光信号に含まれる電気信号の電力レベルの特性例を示すグラフである。

【図5】 第2の実施例における主基地局のレーザダイオードにおける、入力される電気信号の電力レベルに対する出力される光信号に含まれる電気信号の電力レベルの特性例を示すグラフである。

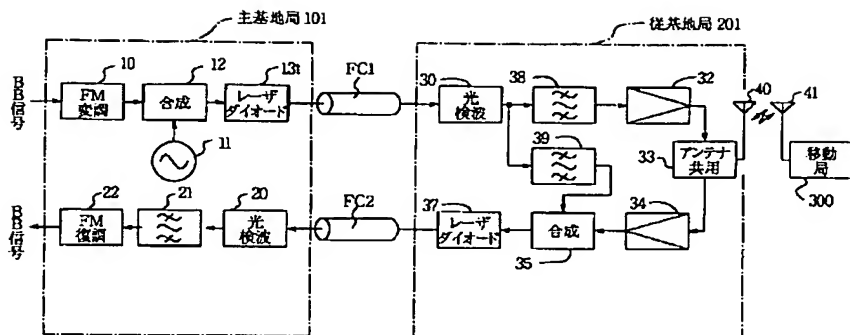
【符号の説明】

- 10…FM変調器、
- 11、36…局部発振信号発生器、
- 12、35…合成器、
- 13、13t、37…レーザダイオード、
- 20、30…光検波器、
- 22…FM復調器、
- 21、31、38、39…帯域通過フィルタ、
- 32…送信電力増幅器、
- 34…受信増幅器、
- 40、41…送受信アンテナ、
- 100、101…主基地局、
- 200、201…従基地局、
- 300…移動端末局、
- FC1、FC2…光ファイバケーブル。

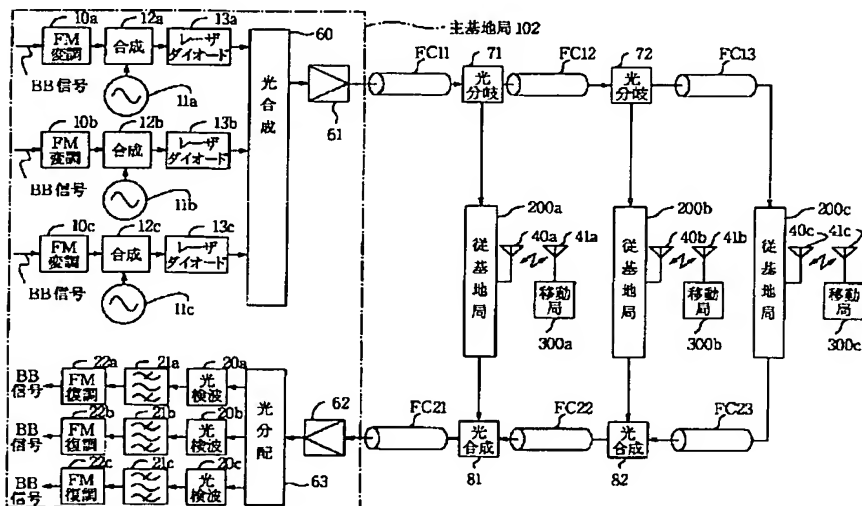
【図1】



【图 2】



【図 3】



【图 4】

【图 5】

